

# 令和3年度 下水道事業会計決算の概要

## 1 令和3年度の主要な取組

安全・安心なサービスを提供し続けていくため、下水道汚水事業、下水道浸水対策事業及び下水道施設老朽化対策事業などを推進しました。

### ○ 下水道汚水事業

見沼区染谷2丁目地区・大字風渡野地区（芝川第9-1処理分区）、岩槻区大字小溝地区・大字徳力地区（岩槻第4処理分区）、西区大字清河寺地区（鴨川第12処理分区）などにおいて、汚水整備工事を実施しました。

### ○ 下水道浸水対策事業

岩槻区諏訪4丁目地区（東岩槻第1排水区）、緑区太田窪1丁目地区（谷田排水区）、見沼区大和田町1丁目地区（第1内田排水区）、西区三橋5丁目地区（三橋排水区）などにおいて、雨水整備工事を実施しました。

### ○ 下水道施設老朽化対策事業

中央区新都心地区（鴻沼第29排水区）、大宮区大成町3丁目地区（鴨川第20処理分区）、浦和区北浦和4丁目地区（鴨川第42処理分区）、北区吉野町1丁目地区（芝川第5処理分区）などにおいて、管きよ更生工事などを実施しました。また、緑区美園6丁目地区などにおいて、ポンプ場再構築工事を実施しました。

## 2 基本業務量

項 目		令和3年度	令和2年度	増 減
行政区内人口	人	1,334,975	1,327,691	7,284
処理区域内人口	人	1,260,519	1,248,591	11,928
下水道普及率	%	94.4	94.0	0.4
水洗便所設置済人口	人	1,230,446	1,216,827	13,619
水洗化率	%	97.6	97.5	0.1
汚水処理戸数	戸	551,011	539,976	11,035
年間汚水処理水量	m <sup>3</sup>	148,553,019	148,967,846	△414,827
年間有収水量	m <sup>3</sup>	121,280,802	120,569,458	711,344

### 3 収益的収支の状況

下水道事業収益につきましては、下水道使用料や他会計負担金などが増加したことから、前年度に比べて275,149千円増加しました。

下水道事業費用につきましては、減価償却費などが増加したことから、前年度に比べて174,955千円増加しました。

● 収益的収支決算額（消費税込み） （単位：千円）

項目	令和3年度	令和2年度	増減
下水道事業収益	26,468,760	26,193,611	275,149
下水道事業費用	24,635,717	24,460,762	174,955
収支差引	1,833,043	1,732,849	100,194

● 令和3年度の収益的収支内訳

収入	下水道使用料 186.8億円	他会計負担金 45.2億円	その他 32.7億円
支出	減価償却費・資産減耗費 134.9億円	維持管理費 86.4億円	支払利息等 25.1億円

### 4 資本的収支の状況

資本的収入につきましては、国庫補助金や企業債などが減少したことから、前年度に比べて1,694,285千円減少しました。

資本的支出につきましては、建設改良費などが減少したことから、前年度に比べて1,120,005千円減少しました。

● 資本的収支決算額（消費税込み） （単位：千円）

項目	令和3年度	令和2年度	増減
資本的収入	11,389,315	13,083,600	△ 1,694,285
資本的支出	23,233,026	24,353,031	△ 1,120,005
収支差引	△ 11,843,711	△ 11,269,431	△ 574,280

※ 収入が支出に対して不足する額は損益勘定留保資金などで補填しました。

● 令和3年度の資本的収支内訳

収入	企業債 103.2億円	国庫補助金 5.7億円	その他 5.0億円
支出	建設改良費 112.8億円	企業債償還金 119.5億円	長期貸付金 0.0億円

## 5 損益計算書

下水道事業収益	営業収益	下水道使用料	169.8億円	下水道事業費用	営業費用	維持管理費	79.2億円
		他会計負担金	45.2億円			減価償却費等	134.9億円
		その他営業収益	0.1億円		営業外費用		支払利息等
	営業外収益	長期前受金戻入等	32.6億円			当年度純利益	9.8億円
	特別利益	その他特別利益	0.0億円				

## 6 貸借対照表

資産	固定資産	有形固定資産	3,927.2億円	負債	固定負債	企業債	1,665.8億円
		無形固定資産	144.0億円			流動負債	引当金
			投資その他		0.2億円		企業債
		流動資産			現金預金	56.2億円	繰延収益
	未収金		35.9億円	引当金・預り金	1.2億円		
	前払金		17.2億円	長期前受金	984.9億円		
				資本	資本金	資本金	1,310.6億円
					剰余金	資本剰余金	1.9億円
						利益剰余金	54.8億円

## 7 キャッシュ・フロー計算書

資金期首残高		49.7億円
資金増減額	業務活動によるキャッシュ・フロー	114.1億円
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 91.3億円
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△16.3億円
資金期末残高		56.2億円

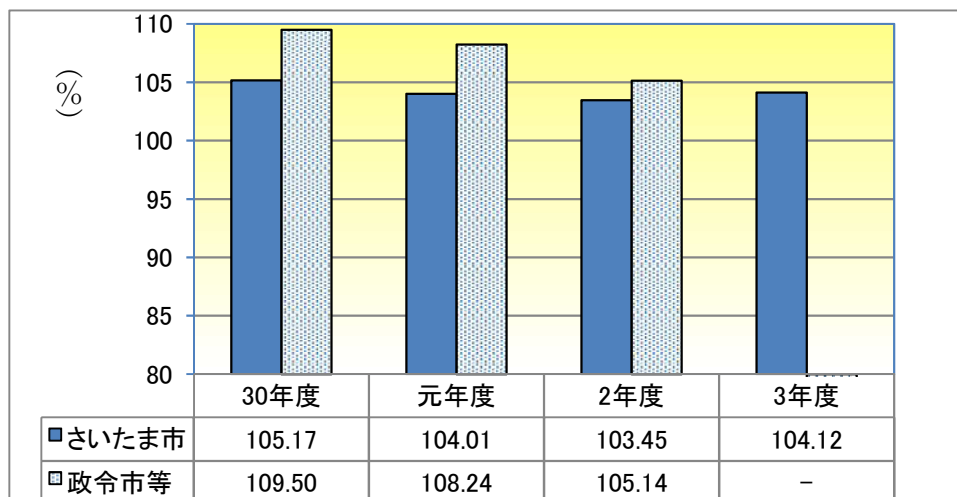
## 8 企業債残高

項目	令和3年度末残高	令和2年度末残高	増減
企業債	1,785.1億円	1,801.4億円	△ 16.3億円

## 9 経営指標に関する事項

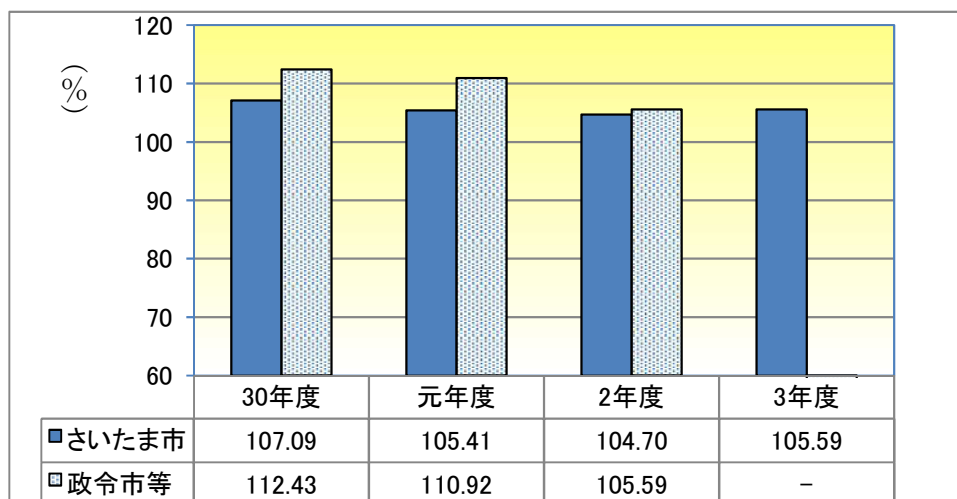
### ○ 経常収支比率

経常収支比率とは、下水道使用料や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。他の政令指定都市等の平均を下回っていますが、経常収益で経常費用を賄うことができています。



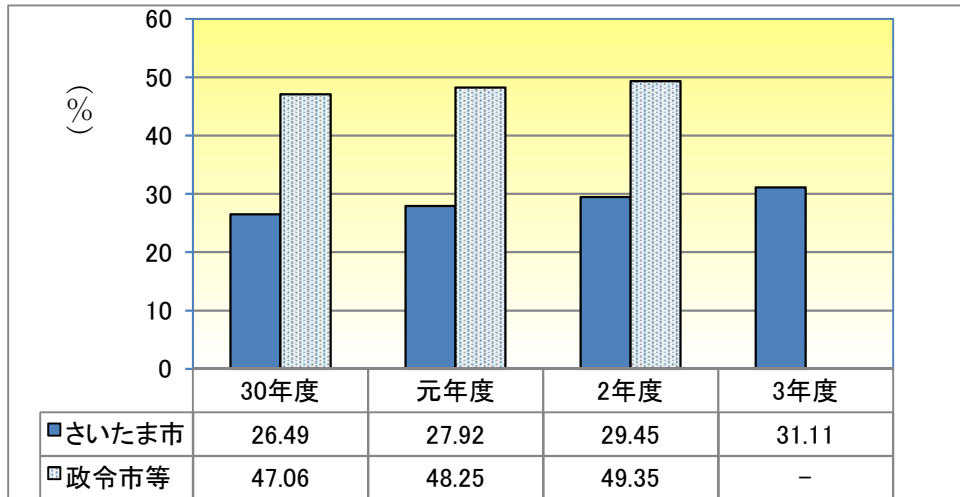
### ○ 経費回収率

経費回収率とは、汚水処理に要した費用を、下水道使用料でどの程度回収できたかを示す指標です。下水道の経営は、経費の負担区分を踏まえて、汚水処理費を全て下水道使用料により賄うことが原則であり、経費回収率は下水道事業の経営を最も端的に表しています。



○ 有形固定資産原価償却率

有形固定資産減価償却率とは、有形固定資産のうち、償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標です。他の政令指定都市等の平均を下回っており、これは、本市下水道管路施設の整備が昭和40年代後半から増加したことにより、比較的新しい施設が多いことが理由として考えられます。



○ 管きょ老朽化率

管きょ老朽化率とは、法定耐用年数を超えた管きょ延長の割合を表した指標です。今後、法定耐用年数を超えた施設が増加し更新需要のピークを迎えることから、下水道施設の状態および財源を把握したうえで、引き続き計画的な改築を進めてまいります。

